

じゅず玉でブレスレットを作ろう

◆ものづくりのねらい

最近見かけることが少なくなったジュズダマですが、堅い光沢のある実は糸を通しやすいため簡単にブレスレットやネックレスが作れます。草花や木の実遊びを通して、楽しく子どもたちを植物の世界へ誘いましょう。

◇ジュズダマ（数珠玉）イネ科 ジュズダマ属 学名： *Coix lacryma-jobi*

【数珠玉の語源】仏教が由来という説。見た目に光沢があり、仏具として「数珠をつくる玉」として使われたことからこの名がついた。

◆作ってみよう！…じゅず玉ブレスレット

<栽培> 畑の隅に何気なく種を蒔いた。夏を過ぎると芽が出てくる。特に何も世話をしなくても、どんどん生長する。種の色が黒くなったら収穫する。収穫しなかった種がこぼれ、毎年、生えてくるようになる。

<準備物> じゅず玉、テグス、飾り玉、
ゼムクリップ、ハサミ

<作り方>

- 1 じゅず玉の中身を取りだす。ゼムクリップを写真のように加工し、玉の下の穴から突き刺す。その後、玉の上のへたを指でつまんで、中身を引き出す。すると中が空洞になるので、糸を通すことができる。
- 2 穴にテグスを通して、じゅず玉をつないでいく。
- 3 玉だけでなく、途中にビーズや飾り玉をはさむと楽しい。
- 4 最後は、テグスを二重に結んでできあがり。(^^)

